

## 令和8年度日本大学自主創造プロジェクト 日大生のやってみたいを実現するプロジェクト申請予定企画 「振動は表現になるか？」 メンバー募集のための説明書

芸術学部3年 本間桜楽

日本大学自主創造プロジェクト応募要件

1. 日本大学の学部、大学院、短期大学部および附属専門学校の正規生で構成されていること。
2. 2学部以上かつ5名以上の学生が参画していること。

---

### 企画目的・概要

芸術鑑賞時、障害のある人は代替への変換を経て鑑賞を行う。その変換の起こらない、ダイレクトな表現方法として振動に着目した。また、鑑賞以外の参画にも適用されうるのではないかと考える。振動は、骨伝導や触覚を通して感じられ、また生きる誰しものが心拍を持って発している。

この企画では、振動による表現は成立可能かを実験する。具体的には、小さな振動（指先の力で揺らす等）を増幅し大きな揺れに起こすための装置を作り、またそれが感じやすいような方法を模索する。最終的には、振動の発表の場を設け、表現者/鑑賞者に表現が伝えられたか/伝わったかを確かめる。

### 必要な役割

- ・振動増幅装置の製作
- ・経費管理
- ・イベント運営
- ・アクセシビリティチェック
- ・表現研究

### 参加して欲しい人

理想と現実の両立を目指し、自分の得意なことをフルで発揮してくれる人にぜひ参加していただきたいです。また、ものづくりが好きな人、芸術の鑑賞や表現が好きな人、人とコミュニケーションを取るのが好きな人、何か大学時代に打ち込むものが欲しい人、アクセシビリティに関心がある人も歓迎します。この発想自体に興味がある人の参加も嬉しいです。学外からの参加も大歓迎です。企画者の私自身は、考え事や即興的な行動は得意ですが、計画や事務的な管理・記録が苦手です。過不足を補い合うチームを理想としています。

### 参加するメリット

- ・ポートフォリオ、就職活動等経歴書に書くことができる
- ・学際的な活動ができる
- ・大学時代の思い出ができる

---

## 実際の活動内容

- ・振動装置の設計、製作
- ・諸芸術についての調査
- ・振動表現の模索
- ・体験実験の実施、結果の分析
- ・検証会（演奏会）の実施、運営
- ・レポート制作

## 活動場所

集まるメンバーによって都度変更する予定です。私は芸術学部（練馬区・江古田）を拠点としています。規定により交通費は助成金適用の範囲外であるため、メンバーの定期範囲等考慮します。

## 実施期間

「日大生のやってみたいを実現するプロジェクト」自体の期間は

令和8年4月1日（水）～令和9年3月31日（水）と定められています。

実際には、令和8年3月中～令和9年3月をめどに行い、その内9月、12月、1月はおそらく活動が激減すると予想されます（それぞれ卒論中間報告、卒論提出の締め切り）。週に一度程度の対面またはオンラインの会を開く予定ですが、活動時期や内容によって頻度・形式は変動します。具体的な一回の会の長さについても未定です。

---

## 企画立案の経緯

所属する音楽学科理論専攻の卒論要件である論文の内容は、「音楽に関連すること」ならなんでもいいとされている。音楽に関連するテーマを考える内に、私は音楽自体に対して疑いの念を持った。聴こえなかったら音楽はないことになるか？と考え出した。そこから聴覚障害と音楽についての関連記事を読んで、音を光や振動に変換してろう・難聴者に届ける装置の存在を知った。しかしながら果たしてそれは本当に元の音楽であるかを疑問に思った。変換なしで伝わる表現方法を考え、この企画を立案した。我ながら面白い企画、ぜひ参加してほしい！

## 企画者自己紹介

本間桜楽 宇都宮市出身。現在、日本大学芸術学部音楽学科3年生。歌うこと、睡眠、散歩が好き。提出物と整理整頓が苦手。最近は細井徳太郎と寺尾紗穂を好んで聴いている。得意料理はチリコンカン。また、「スペクタクルの社会」を読んでいるが難しくて理解できず苦しんでいる。 NU-mail:arsa23085@g.nihon-u.ac.jp Instagram:@katahaba\_hs